



宇都宮商店街めぐり 第15回

雀宮スタンプ会

「スタンプでお客様との コミュニケーションを図っています」

宇都宮市の南に位置する雀宮地域。4つの商店会が協力して行っているスタンプ事業を推進しているのが、雀宮スタンプ会です。

宇都宮の南部、下野市と隣接する雀宮地区。地域には社会保険病院や自衛隊駐屯地などがあります。

平成6年10月に雀宮日の出通り商店会・雀銀座会・南高砂通り商店会・みどり野町商店会が中心となって、雀宮スタンプ会が発足しました。

「当時は50店舗以上が加盟していました」と振り返るのは、会長を務める齋藤英時さん（南斎藤米穀店代表

取締役）。「後継者不足などで閉めた店もあって、少々減っています。数年前にスーパーが閉店したのも響いていますね」と残念そう。

通常の商店会とは異なり、同会はスタンプ事業が主目的です。スタンプ事業にはさまざまな方式がありませんが、同会では地元金融機関と協力し、スタンプを金融機関に預かってもらって、会員店舗がそれを購入し、お客様に配るやり方をしています。



雀宮スタンプ会会長 齋藤英時さん

「設立当初は60%くらいの回収率でしたが、現在はほとんどアップしています。経済情勢の厳しい今、加盟店からは「お客様の引き留め策として有効」「スタンプ事業を」やっていると良かった」という声も聞かれます」

現在では、毎年春・夏・冬の3回イベント「スタンプ還元セール」を行っています。冬（歳末）には空クジなしの抽選会も実施、お客様に喜ばれています。

「スタンプは、お客様とのコミュニケーションを深める材料としても、重要ですね。『集まりました？』などのひと声をかけることで、お店のファン作りにも役立ちます」

昨今では、お店が個別にチラシを撒いても、なかなか思うような効果が出ません。イベント毎のスタンプのチラシは、加盟店にとって宣伝効果も小さくないようです。

「2カ月に一度程度、定例の会合を開いています。情報交換や加盟店からの意見の吸い上げなどを行っていますから、加盟店同士の意思疎通もできています。今後ともまとまりよく、がんばって行きます」



雀宮スタンプ会の折り込みチラシ

雀宮
スタンプ会
(会員数)
37店舗

